



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 178

平成23年7月11日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

「日本の財政悪化への対策」6月26日総会講演要旨

講師 東京経済大学名誉教授 富塚文太郎先生

平成23年度一般会計予算の内容をみると歳入において、公債金収入(借金)が47.9%をしめている。平成23年度末の公債残高(これまでに発行済みで未返済の公債の累計)見込みは約668兆円で、国民一人当たり約524万円の負担という計算になる。ただし、後でも述べるが、この資金を貸しているのも大部分は国民である。このような国の長期債務残高の対GDP比をみると、先進主要国の中では最悪の水準となっている。しかしこれらの公債(国債)を誰が保有しているかという国債保有構造を見ると、銀行や生損保、公的年金、家計(個人)などで計95%が国内で保有されており、他の先進国では50%程度が海外からの投資家の資金で賄われているのと比べるとしばらくは余裕があると思う。

しかしながら長く続けるわけにはいかないので、これをどう改善していくかということになる。簡単にいうと国の収入を増やす以外にないのだが、その際によく税率を上げる、消費税や所得税の率を上げるのが手取り早いと言われる。国民が所得の中から税金や社会保障のための負担金などをどれだけ負担しているかを示す国民負担率(対国民所得比)は先進国の中ではかなり低いのでまだまだ税率を上げてよいという意見もあるが、そうした考え方には危険な面がある。

一般会計推移をみると、大きな問題なのは過去10年来税収が減っているということだ。これは経済が伸びていないからで、国民所得の推移をみると、現在の総国民所得は10年前と比べても減っている。経済成長が止まっているため、ここで、ただ税率を上げて税収だけ増やすということをするとうなるかということ、国民の購買力が圧迫されてさらに成長率が落ちる。そうすると税収はかえって減る恐れがある。だからただ税率を上げて税収を増やせばよいという発想は危険だと思う。むしろ国民所得を如何に増やすか、経済成長を如何に高めるかという発想をしなければならぬ。もし、この10年間に2%ずつでも国民所得が増えていたとすると財政の形が全然違っていただろう。税率を上げることはいずれ必要かもしれないが、前提として経済を豊かにしないと税収が上がらないので、広く経済全体を考える中で税と財政のことを考えなければならない。

平成23年度代議員会・総会開催される

平成23年度定時都道府県代議員会・総会が6月26日、東京八重洲富士屋ホテルで開催された。冒頭物故会員ならびに東日本大震災でなくなった方のために黙祷を捧げた後、石山理事長が次のように挨拶した。

「本日は出席賜り有り難うございます。2つ報告させていただきます。1つは3月11日に発生した東日本大震災で、特に岩手、宮城、福島に甚大な被害が出たため、早速会員の皆様に義援金をお願いしたところ多額の義援金が集まり、被災された先生の少しでもお役に立てればと言うことで、休会退会の別なくお送りしました。青森県にもお送りしたが、被害の状況が3県とは違うのでということで返金されてきました。その後3県を中心に送金致しましたが、皆様に改めてお礼申し

上げます。

数日前にお手元に「かがみ」121号が届いたと思いますが、これには22年の公立学校のレセプト調査の分析データが載っています。非常に詳しい分析が載っています。これを見ますと、厚労省が平均点数の上位8%を毎年呼び出して平均点数を下げるような指導をしていますがそれに対する点数の動向が推察できますので、ご覧頂きたいと思います。」

理事長挨拶に続き、平成22年度庶務報告・事業報告があり、その後議事に入った。第1号議案の収支決算報告は原案通り承認可決、第2号議案の事業計画案では、総論で文言の修正を行って承認可決、第3号議案収支予算案は原案通り承認可決された。

議事後義援金の収支報告がなされた。

引き続き本年8月27日、28日群馬県高崎市で行われる第36回臨床家フォーラム「群馬フォーラム」について、実行委員長の多賀谷泰弘先生が多数の参加をお願いしたいと挨拶を、また、第37回臨床家フォーラムについて、伊東副理事長(鹿児島)より、九州・沖縄全体としてフォーラムを引き受けることになり、来年9月8日9日、熊本市で開催することが決まったとったの報告があった。

この後、会場を移して懇親会が行われた。

~~~~~  
今後の会議日程

8月28日(日)第2回移動全理事会(高崎市)

10月9日(日)第3回全理事会

H24年1月22日(日)第5回全理事会

3月11日(日)第6回全理事会

第1回医会長協議会・第4回全理事会は11月27日(日)の予定ですが、11月は専門医講習会・学会など多く開催されるため、確定ではありません。ご了承ください。

~~~~~



第36回臨床家フォーラム

継続は力 フォーラムに集い
更なる団結と飛躍を

会期:平成23年8月27日(土)・28日(日)

会場:ホテルメトロポリタン高崎(高崎市)

登録受付開始しています。多数の参加

をお待ちしております。



経口用セフェム系製剤 薬価基準収載
日本薬局方 セフジニルカプセル、セフジニル細粒

セフゾン® 細粒小児用10%
カプセル 50mg 100mg

処方せん医薬品(注記一欄等の処方せんにより使用すること) **Cefzon**®

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都板橋区蓮根3-17-1
[資料請求先] 本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11